

柏市教職員人材育成指標

※本指標は「柏市教職員人材育成指針」及び「千葉県・千葉市教員等育成指標」を基に作成しています

目標 信頼される質の高い教員の育成を目指して

「千葉県の教育の振興に関する大綱」及び第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」より

柏市の目指す教職員の姿 教育者としての愛情と使命感をもち、相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員

四つの柱	構成要素	養成段階	千葉県が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営・担当教科指導等)	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営・校務分掌主任等のミドルリーダー)	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ指導・助言)	
				学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上	ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上	チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上	
A 教職に必要な素養	○使命感 ○責任感 ○教育的愛情 ○高い倫理観 ○服務規律の遵守 A1	○教職の意義 ○教員の役割 ○教職への意欲 ○課せられる義務等	教育 実 習 ・ ち ば ！ 教 職 た ま ご プ ロ ジ エ ク ト （ 指 導 教 員 の も と で 体 験 を 積 み 、 学 校 教 育 の 実 際 を 体 験 的 に 理 解 す る）	○人間性豊かで、 教育愛と使命感に 満ちた教員	教員としての職務に対する使命感、教育的愛情を持ち、教職に対する強い情熱をもっている。また、教育公務員として高い倫理観をもち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行している。	（学校運営等、職員全体へ指導・助言） チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上	
	○社会性 ○コミュニケーション能力 A2	○教員としての広い視野や 教養等を身に付けるとともに、 学び続ける意欲やコミュニケーション能力を 育む					社会性、コミュニケーション能力等を備え、職務に応じて積極的に他の教職員と協働し、児童生徒、保護者、地域等と関わっている。
	○広い視野 ○学び続ける意欲 ○社会の変化への対応 A3	○教育の理念・歴史・思想や 社会的・制度的・経営的事項等についての基礎的知識 （選択）					広い視野をもち、教員としての資質能力の向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れ、実践にあたっている。
	○教職に関する教養 A4	○教育の理念・歴史・思想や 社会的・制度的・経営的事項等についての基礎的知識 （選択）					教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報収集に努めている。
B 学習指導に関する実践的指導力	○教科等についての専門性 B5	○学習指導要領に示された 教科領域の目標・ねらい・ 内容	○高い倫理観を持ち、 心身ともに健康で、 明朗、快活な教員	○幅広い教養と学習 指導の専門性を 身に付けた教員	教科等に関する専門性を生かした授業を展開し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めている。	地域や児童生徒の実態を把握し、問題解決的な学習過程を展開するとともに、単元など内容や時間のまとまりの中で、習得・活用・探究のバランスを工夫し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めている。	
	○授業実践 ○指導技術 B6	○基礎的な学習指導理論 ○発達・学びの過程 ○指導技術 ○具体的な授業設計を構想 する方法					特別な支援を必要とする児童生徒についてその状況を把握し、家庭や他の教職員、関係機関等と連携しながら、個別に学習上の支援の工夫を行っている。
	○特別な支援を必要とする 児童生徒への学習上の支援 B7	○特別な支援を必要とする 児童生徒に対する学習上 の困難の把握と支援の 方法					児童生徒の心身の発達の特徴や現在の状況等を理解するとともに、児童生徒等との信頼関係を構築し、学級経営をはじめ、集団の掌握・適切な指導を行っている。
C 生徒指導等に関する実践的指導力	○児童生徒理解 ○信頼関係の構築 ○生徒指導 C8	○児童生徒の心身の発達の 過程・特徴 ○生徒指導の意義・原理・進 め方	○児童生徒の成長と 発達を理解し、 悩みや思いを受け 止め、支援できる 教員	○児童生徒の成長と 発達を理解し、 悩みや思いを受け 止め、支援できる 教員	児童生徒一人一人の課題の解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を図っている。	特別な支援を必要とする児童生徒の個々の状況を理解するとともに、家庭や他の教職員、関係機関等と連携しながら、その状況に応じた生活上の支援を行っている。	
	○教育相談 ○個別指導 C9	○学校における教育相談の 意義・理論 ○教育相談を進める際に必 要な基礎的知識					人権教育の理念のもと、いじめ、不登校、情報モラル等生徒指導上の課題に対し、家庭、他の教職員、関係機関等との連携を図りながら、児童生徒に対し適切な指導を行っている。
	○特別な支援を必要とする 児童生徒の理解 ○生活上の支援 C10	○特別な支援を必要とする 児童生徒の特性・心身の発 達 ○生活上の困難の把握と支 援の方法					児童生徒の自己実現の視点に立った授業展開、体験活動、ガイダンスとカウンセリングの充実に努めている。
	○人権教育の推進 ○問題行動等への対応 C11	○人権教育の理念 ○理念に基づく、いじめ等の 問題行動に対する適切な 対応の在り方					各学校で編成される教育課程を確実に実施するとともに、カリキュラム・マネジメントの視点から常に見直し、学校の実情に応じた教育課程に改善しようとしている。また、特別な支援を必要とする児童生徒の教育課程の編成について適切な対応に努めている。
	○進路指導 ○キャリア教育 C12	○進路指導とキャリア教育 の意義・理論、指導の在り 方等					組織の一員として学校運営を支える力となり、自分の役割を責任をもって、積極的に果たしている。
	○教育課程の管理・運用 D13	○各学校で編成される教育 課程の意義・編成の方法 ○各学校の実情に合わせて カリキュラム・マネジメン トを行うことの意義					家庭や地域社会、関係機関との連携・協働に努め、地域とともに歩む学校づくりに取り組んでいる。
D チーム学校を支える資質能力	○校務分掌 ○他の教職員との連携・調整 D14	○指導以外の校務を含めた 教員の職務の全体像	○組織の一員として の責任感と 協調性をもち、 互いに高め合う 教員	○組織の一員として の責任感と 協調性をもち、 互いに高め合う 教員	研修（研究）における成果と課題を把握し、教員としての資質能力の向上を図るために必要な研究と修養に努めるとともに、校内研修体制づくりに取り組んでいる。		
	○家庭や地域社会、関係機関 との連携・協働 D15	○取り組み事例を踏まえた 家庭・地域との連携・協働 の仕方 ○学校の担う役割が拡大する 中、内外の関係機関との 連携や、分担して対応する ことの意義・方法					
	○研修（研究）体制 D16	○研究と修養による資質能 力の向上の意義・方法					